

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 660104 友好都市中学生派遣事業費		主管課名 学校教育課								
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		課長名 花井 伸						
		施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち								
		基本事業	国際交流活動の充実								
	(1)事業の概要										
	友好都市コロナバス市へ市内の代表中学生を派遣し、国際交流、地域間交流を推進します。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単位						
				研修回数	回						
				選考人数	人						
				その指標							
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)			例年、友好都市コロナバス市へ派遣する中学生を4月に募集、5月に選考し、友好都市へ代表者を8泊10日派遣している。現地では、市長への表敬訪問、市内視察をしたり、ホームステイ先の子供と学校での生活を体験している。(三好中4名、北中4名、南中4名、三好丘中4名 合計16名)								
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	随行者5人 4人								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
市内中学2年生			名 称	単位							
			中学2年生生徒数	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
異文化を直に体験することにより、国際的視野を広げ、国際理解を深める			名 称	単位							
			交流を深めたと感じた生徒数	人							
			コロナバス市派遣団員生徒数	人							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
自主的な交流活動をしてもらう			名 称	単位							
			外国人との交流に興味があると答えた人の割合	%							
			自主的な交流活動をしていると答えた人の割合	%							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		回	10	8	8	8	8	8			
		人	16	16	16	16	16	16			
(6)の対象指標		人	683	694	820	832	839	811			
(7)の成果指標		人	16	16	16	16	16	16			
		人	16	16	16	16	16	16			
(8)の結果の成果指標		%	38	38.6	39	39	39	39			
		%	7	7	7.5	7.5	7.5	7.5			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	03	目	02
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	4,678	5,461	6,319	6,319	6,319	6,319			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	4,247	4,419	4,057	4,057	4,057	4,057			
	一般財源	千円	431	1,042	2,262	2,262	2,262	2,262			
人件費B		千円	922	940	940	940	940	940			
正職員従事時間×人数		時間×人	125 × 2	125 × 2	125 × 2	125 × 2	125 × 2	125 × 2			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用C		千円	166	318	318	318	318	318			
トータルコストA+B+C		千円	5,766	6,719	7,577	7,577	7,577	7,577			
単位あたりコスト		千円/ 人	8	10	9	9	9	9			
トータルコスト		千円/									
/(6)の対象指標		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	660104友好都市中学生派遣事業費			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	平成10年			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			特になし		
「21世紀の教育提携書」に基づく交流の推進を図るため						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない		変化し海外から帰国する生徒も増えており、国際的な感覚が増加している。				

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
		自治事務	→	根拠法令	みよし市国際交流事業補助金交付要綱		
				この事務を行う根拠又は理由	国際理解教育並びに地域理解教育の推進		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由			
		結びつかない	→				
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容			
		できない	→				
		拡大	→				
		縮小	→				
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容			
	できない	→					
	追加	→					
	拡充	→					
	絞込み	→					
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容				
	多少影響がある	→					
	影響はない	→					
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	派遣する中学生の負担を考え、現行の事業内容が妥当である。			
	できない	→					
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？							
(7)類似又は関連する事業はありませんか？	ある	→	類似事業名				
	ない	→					
また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？			類似事業との再編の可能性	ある	内容		
				ない			
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	ホテル泊の日程をホームステイに変更することによって事業削減はできる。			
	ない	→					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容				
	ない	→					
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容	現状で適正			
	ない	→				検討が必要	
	受益者がいない	→					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	原油価格高騰により、渡航費用が以前よりかかり、補助金増額の必要がある。					